

# SORA *Travel*

web magazine 2015.jun. vol.55

## micronesia Rota Island

Photo & Text :Yasuaki Kagii

### あおい光の島<ロタ>

MAP  
CLICK!

神秘的なダイビングポイント「ロタホール」が有名なミクロネシアのロタ島。最近では飛行機でのアクセスが以前よりも少し不便になり、露出も以前ほどは多くなかった。しかし今回、10数年振

りに再訪して、輝きを増したロタのダイビングシーンに出会った。島のどこにいても、海のあおい気配を感じることができる。心に潤いを欲しているならば、是非、ロタ島が良いと思う。

tsumi-shima tsumishima.com  
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ  
www.wtp.co.jp

© 2015  
World Tour Planners Co.,Ltd.  
All Rights Reserved.





洞窟の奥に光る一条の光。  
一度見ると忘れることができない＜あおい光＞。



時間と共に＜あおい光＞は動き出す。  
小さな光が、やがて大きな柱となり、  
そして2つの光が繋がり、カーテンのようになる。



A vertical underwater photograph showing a diver in the center, illuminated by a bright light source from above, creating a long, shimmering column of light and bubbles. The diver is positioned in the middle of the frame, with their light illuminating the sandy and rocky seabed below. The surrounding water is dark blue, with some light rays visible on the left side.

micronesia  
*Travel* **Rota Island**

へあおい光を眺めたり、包まれたりすると、  
今まで誰も、何も届くことができなかった  
心のどこかに触れてくれる。  
初めての感触…。

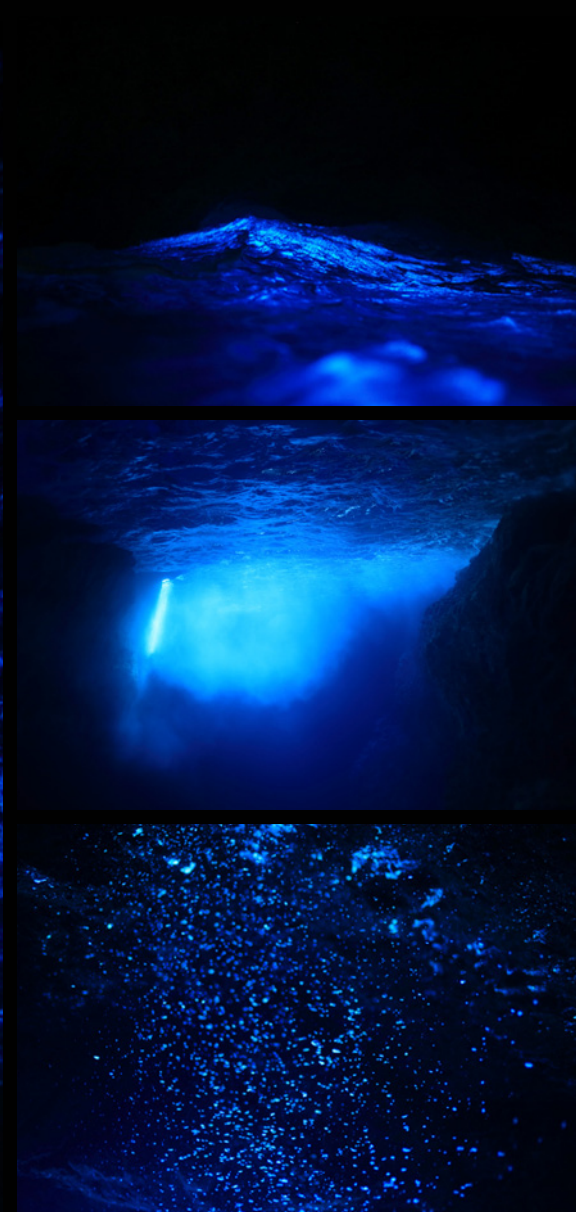
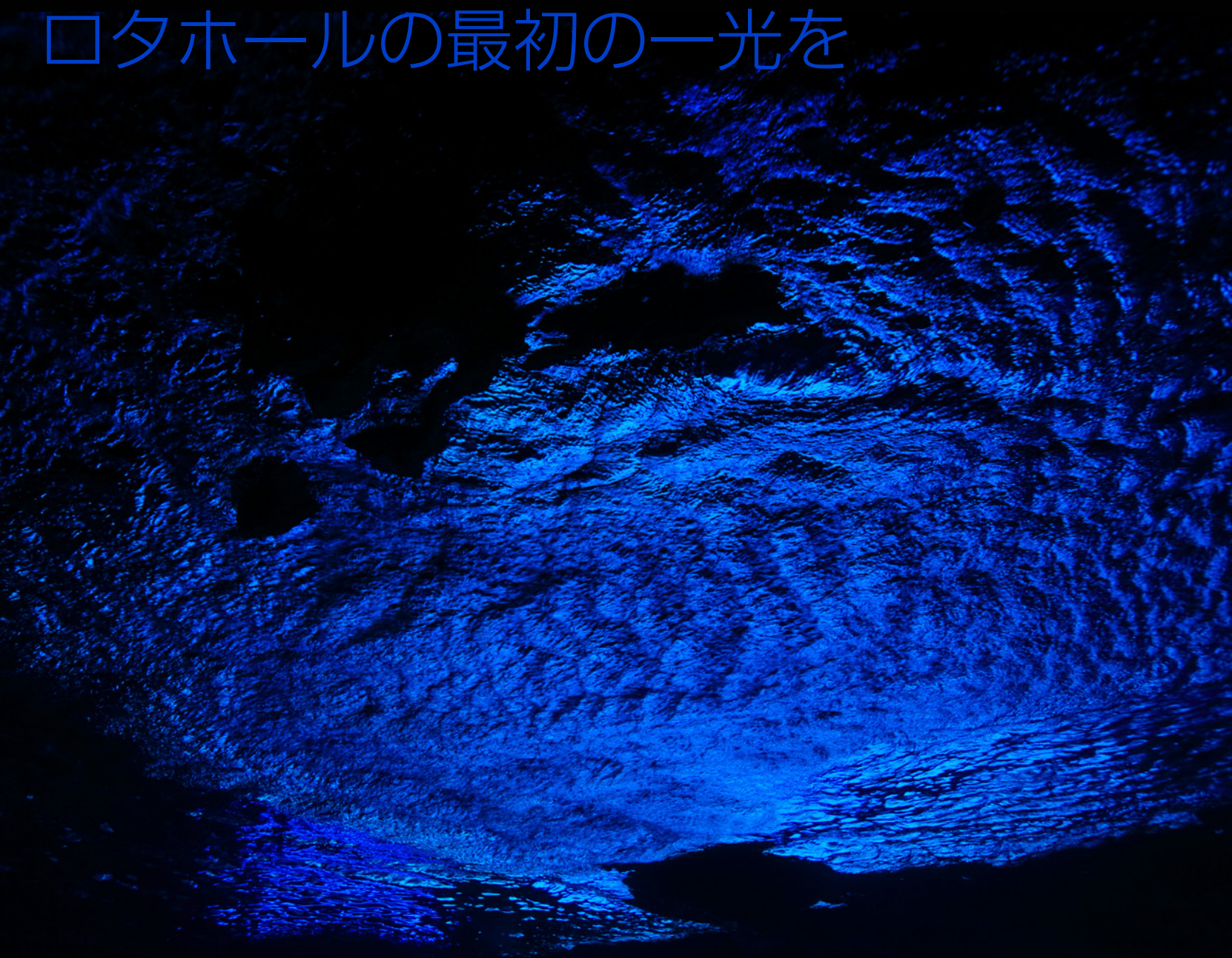


ブルーパームスのガイド陣は、その日のロタホールに注ぎ込む光の時間を予測できる。だから、その日に生まれたての光にも出会える。ただ大きな洞窟の先に、微かな光が輝きだす。そして、私たちの予想に反して、その光はどんどんと成長する。大きくなる光を色んな角度から眺める。上か

ら下から斜めから。そうするときと、自分の好きな景色が見つかるはず。また、〈あおい光〉は洞窟内の至る所で見つけることができる。暗がりの水面下、エアドームになった水面上。そして、ダイバーたちが吐く泡が壁に留まり青く光る。少し視点を広げて、あなたの〈あおい光〉を見つけて欲しい。

micronesia  
*Travel* **Rota Island**

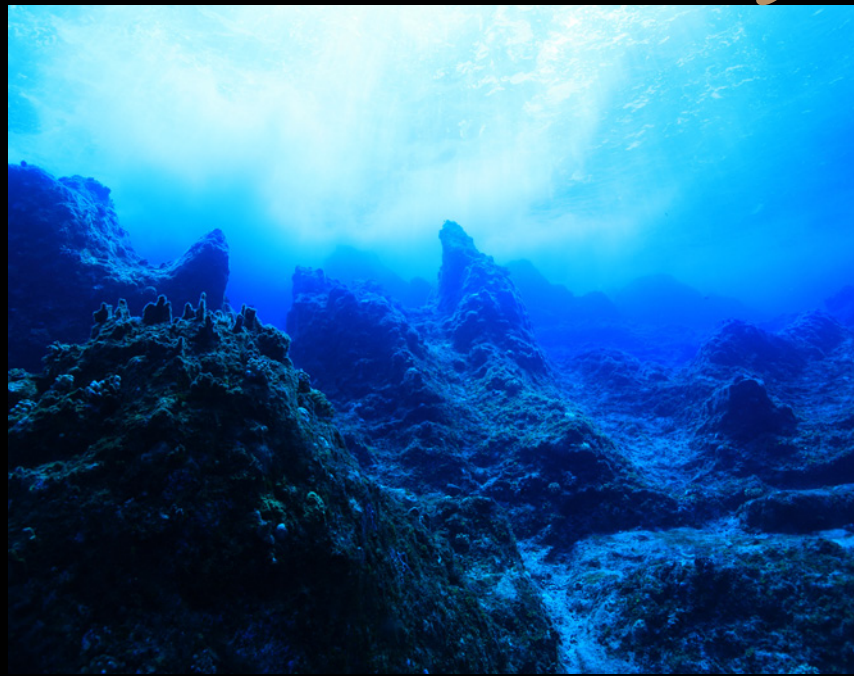
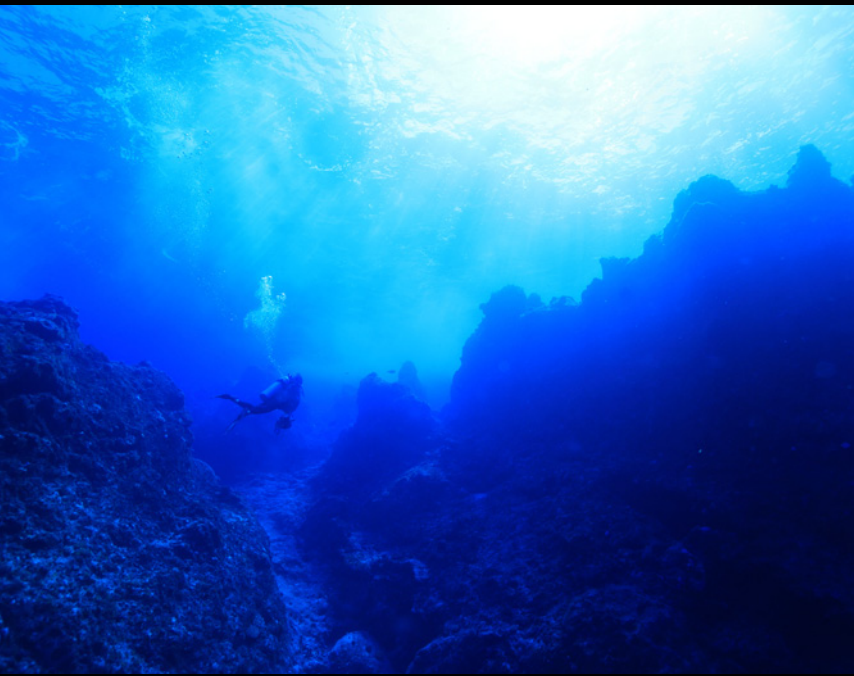
## ロタホールの最初の一光を





# 中上級者限定になっちゃうけど お薦めのビッグポイント・ハルノンドロップオフ

micronesia  
*Travel* **Rota Island**



ロタの海では、ロタホールが有名で他のポイントが脇役になってしまうけど、素敵なポイントがちゃんとある！ハルノンドロップオフは、潮の当たりの良いポイントでのダイビング。目的はギンガメアジなどの群れやダイナミックな地形。エントリーして、リーフを右手にして、潮の流れに乗ってドリフトダイビングしていく。まず、サンゴの中に隠れるナンヨウハギの群れを確認。シャイで上手く撮影できず。次に私たちの中に飛び込んできたのが、ツムブリの群れ。何度も私たちの周りを回っては、メリーゴーランドのように楽しませてくれる。そして、水深を下げ、ギンガメアジの群れに会いに行く。水深30mほどに大きなキノコのような根があり、そこに群れている。しかし、今回はその深い水深ではなく、その後の水深10m以浅の棚の上で遭遇。個体が少し大きくて、見応え十分。お目当てのお魚にも出会い、ゆっくり進んで行くと、起伏のある岩の地形がとても面白い。透明度が良いので、どこまでも見渡せ、より水中ではない、不思議な空間を演出する。また、波が砕けちり、白く波立つ部分が夢感を演出する。最後、オレンジフィンアネモネフィッシュやホソカマスなどの群れにご挨拶してエキジットした。



今回リクエストしたのが、ロタで見られるお魚の群れや大物。ブルーバームスのオリジナルポイント「アトランティス」では、真っ白な砂地にロタのマンタである大きなエイのペアと遭遇。根の上では、ヨスジフエダイとノコギリダイが群れていた。「テールトップ」では、宮殿のようなサンゴ礁の中で、食事に夢中なキイロハギの群れに遭遇。その後、可愛いカメにも出会った。そして「ピナタンリーフⅡ」では、きっと繁殖シーズンと思われるチョウハンの大きな群れに遭遇。鮮やかな黄色がロタブルーに映える。

# micronesia Travel Rota Island







micronesia  
*Travel* **Rota Island**



## 小さな生き物たちの物語

ガイドのめぐみさんがお気に入りのナンヨウハギ。ロタの海では群れていることも多く、観察し易くて人気。ポーニャポイントで見せてくれた小さなサンゴに住むナンヨウハギの子供たちの群れ。よく見ると1匹、尻尾がない子がいる。でも誰よりも早くサンゴから飛び出し、遠くへ飛ぼうとする。「そんな性格だから、怪我するのかな?」と思いながら、いとおしくなる。ロタの海のどこかでもそんな物語を見つけることができる。そして「少し特別な生き物に会いに行こう!」と思い、センハノドロップオフへ。そこにはダイバーにとって会ってみたいお魚たちが待っている。シコンハタタテハゼやアオマスク、透明度が高いので、見つけるのも易しい。浅瀬には、穴から顔を出すモンツキカエルウオもたくさん居る。3匹以上近くにいるとロタでは村と呼ぶ。だから、ロタの海底では、モンツキカエルウオ村などがたくさん見つかる。





# その他のお薦めダイビングポイント

## ピナタンリーフⅡ

ミニロタホールを抜けると浅瀬のサンゴの世界。水深が浅いので、水面下の模様が常に変化する。ピンクのサンゴなどが多いのでカラフルな空間が心地よい。ロタの波間に隠された様々な青色と優しい色を見つけることができる。



## ジェリーズリーフ

ロタブルーと白が重なり合い、溶け合うポイント。リーフに到着するとヒメジの群れや、マクロの生き物は、ダイダイヤッコ、コミカルブレニーなど。後半には、サンゴの大群生まで足を伸ばす。



micronesia  
*Travel* **Rota Island**

## パールマントンネル

他のポイントよりも透明度が高く、海況に左右されるポイント。洞窟がふたつあり、地形好きにはたまらない。中には、ニシキヤッコやコガネヤッコの幼魚などが見られる。中から見た外のブルーが吸い込まれそうで印象的。2個目の洞窟は、インパナとブルーが素敵で、その奥にはミニロタホールのような光があり、癒される。そして、リーフの上に行くとドリー村。あたり全体にナンヨウハギがいる。





## ヴァレンチノホテル

ソンソン村の中で、一番新しいホテルで、スタイリッシュな外観から人気を集める。ローカルホテルの中では一番の清潔さを誇るホテルでもある。本館とアネックス館に分かれる。本館がキッチン付きコンドミニアムタイプ。アネックス館は、ツーベッドルーム、ワンシングルベッドがある。今、日本人ゲストが一番多いホテルでもある。1階にカフェがあり、6時から朝食をとることができる。客室からはロタ島の美しい海を見渡すことができる。



## ベイビューホテル

ソンソン村内にあるローカルホテルで、ブルーパームスから最も近く徒歩約3分。可愛らしい外観が特徴のホテル。客室は、ツインベッドルームとシングルベッドルーム。3階の客室からは海を眺めることもできる。1階にレストランを併設。オーナーのおもてなしが良く、リピーターが多いのも特徴。



## ロタリゾート

全室がスイートという豪華なホテルで、ロタの中でも最もリゾート感を味わえる。広い敷地内にはゴルフ場とプールを完備。客室は広く、ひとつの客室は、4ベッドルーム+リビング、もしくは、2ベッドルーム+リビングの2タイプ。グループで借りるのも良いかも。空港から車で約10分。ソンソン村内から車で約20分。レストラン&バーも完備で、お料理は美味しく、身の詰まったロタ産のヤシガニなどがお薦め。



## micronesia Travel Rota Island



tsumi-shima  
ダイバーの夢をつみあげていく島







# ロタ島の 定番レストラン

## 東京苑

ダイバーに人気のレストラン。日本食からチャモロ料理まで豊富なメニューが揃う。お薦めの料理が、ローカル魚を使ったフィッシュケラゲンや冷やし中華、なすのココナッツミルク煮、タン塩など焼き肉も美味しい。ソソン村のメイン通り沿いにあり、ホテルからは徒歩圏内。



## ピッツアリア

ピザやパスタを楽しめるアメリカンレストラン。ボリュームがあるので、みんなでワイワイと行くのがお薦め。お薦めメニューはシュリンプカレーピッツアとタコサラダ。ソソン村のメイン通り沿いにあり、ホテルからは徒歩圏内。



## ブルーパームス・ダイブサービス・ロタ

メインガイドの高久めぐみさんを初め、ロタ歴の長い和地さんがいる現地ダイビングセンター。お客様のニーズに合わせたダイビングやおもてなしがあるサービスでリピーターも多い。海沿いに面し、陸でもリラックスできる施設も人気でハンモックやジャングジーなど工夫が見られる。2艇の自社ボートを所有し、ダイビングスタイルは1日3ポートダイブで、港から出て約1分から15分以内に全てのダイビングポイントがある。毎ダイブ後に、ダイビングセンターに戻ってくるので、船に弱い方も安心して身体への負担も少ない。また、どこのポイントも貸し切り気分でのんびり潜れるが嬉しい。基本的に6名以内の少人数制のグループ分けで潜る。記念ダイブや誕生日など特別な日を迎えるゲストにはサプライズを用意してお待ちしています（事前申告）！



tsumi-shimo  
ダイバーの夢を叶えてくれる

We  
World explorer







micronesia  
*Travel* **Rota  
Island**



ロタの自然は、すべて奇跡のように…





# 高久めぐみが語るロタの魅力

＜日常を忘れることができる時間と空気が流れる島＞

■何年前にロタに来たのですか？

高久めぐみ（以下 TM）：10 年前です。

■10 年が経過した今、ロタの海に思うことは。

TM：去年よりも今年のロタの海が好きです。潜れば潜るほど味が出てくる海だと思います。

■その理由は？

TM：やはり海の青さ。ロタブルーの青の色がこんなにも変色するとは思っていませんでした。日々太陽が変化すると同じく、ロタブルーの色も毎日違います。時には淡い青、薄い青、透き通る青、時間帯や太陽の位置によっては、5色だったり、また逆に2色だったり。一日で何色もの青色を感じることにも有る、そんな自然現象を毎日目の前にすることが出来る事がとても魅力です。

■ゲストはどのようにロタの青を感じていると思いますか？

TM：きっと「ロタブルーマジック」で、みなさん癒されていると思います。透明度が高いので、空を飛んでいる感じで、浮遊感を満喫できる。でも、しっかり水に包まれていることを体感できる。青さが身体にしみ込み、日常の些細なことを忘れさせてくれると思います。またデトックス効果もあると思います！

■その中でやはり一番人気は「ロタホール」ですね。

TM：そうですね。ロタの海は、自然のままの飾られてない海、その代表的なポイントがロタホールだと思います。

■ロタホールのシーズンはいつですか？

TM：太陽の光が入るのは、3月中旬から10月下旬まで。時期によって光の角度と太さが変わってきます。時間帯は、若干のずれはありますが、10時半の御来光から3時半の終焉まで見ることができます。どんどん光は変化するので、色々な見方をして欲しいですね。例えば、御来光が入る瞬間は涙がでますよ！ 1本の光は、みんなに幸福感を与えてくれる。ゆらゆら揺れる光の筋は、夢の世界そのものです。そして時間が経過すると、奥からもう1本の光が滝のように入ってきます。それが、光のカーテンになります。私はあの光のカーテンが大好きなんです。

■他にめぐみさんのお薦めのロタホールの楽しみ方は？

TM：時間によっては、水底に当たる光が『ハート型』になったりする。そして、洞窟内のエアドームに顔を出すと、ライトアップされた青い温泉につかっている感じになります。これぞまさに、非日常を感じさせてくれると思います！



Travel

micronesia  
**Rota  
Island**



tsumi-shima  
ダイバーの夢をつみあげていく島





# micronesia Travel Rota Island

■ロタホール以外のポイントの魅力を教えてください。

TM：例えば、ジェリーズリーフの白い砂地から空まで続くグラデーションブルーや、太陽が差し込んできた時に砂地にくっきり写る自分の影、砂紋、砂紋に当たる光が美しいのです。そして、センハノンドロップの空を飛んでいる浮遊感や、思いがけない魚群との出会い。マクロの生き物はライトを使わなくても、魚の顔の表情や、色がきれいに見えます。また、テーブルトップはサンゴがきれいで、キイロハギの群れやカメ、サンゴの隙間に隠れているチョウチョウウオの幼魚なども可愛いです。砂地にはハゼ好きにも人気のレットバンデットブラウンゴビーやハタタデシノビハゼなどが見られます。上級者の方には、ハルノンドロップオフのダイナミックな地形と大物がでるかも知れないというワクワク感を、是非味わって欲しいですね。そして、私は安全停止中に見る太陽の光の筋や空を見上げた時に水面を突き抜けて見える雲を眺めるのが好きです。また、自分の吐く泡が空まで光るんです。素敵すぎる！

■ロタの陸の魅力も教えてください。

TM：治安がいい事。ロタに住む人々は手を上げて挨拶をするのが習慣で、特に観光客の皆様には笑顔で手を振ってウェルカムで迎えてくれる島なので女性の一人旅でも安心です。そして、とにかくきれい！ 島の中は港も道路もゴミが落ちてなくてきれいなんです！ また空気がとても澄んでる事を感じます！ あとはロタ島は水道水が飲めるんですよ。雨が山に溜まりそれが地下水として湧き出てくるので水も豊富です。まさに、自然そのままの生活です。海もちろんそうですが、陸でも、手つかずの自然がたくさん残っていて、例えばブルーバームスから東へ徒歩30分ほど行くと、「マイナスイオン」溢れる散歩コースがあります。その周囲にはロタブルーの海があり、その奥にはウエディングケーキマウンテンが見渡せます。是非、みなさんにも行って欲しいです。あと、ダイビング後の夕日もとても綺麗です、ロタブルーに沈んでいく夕日はいつも表情が違って見飽きることがありません。そして、3月から9月くらいまで、南十字星がブルーバームスの目の前に見え、同時に満天の星空を楽しむことができます。

■最後にロタの興味をお持ちのダイバーの皆さんに一言！

TM：何もないけど、手つかずの自然に触れ合うことで何かを感じられるので、忙しさに疲れたあなた！ ロタに行くべし！ そして、ゆっくりと流れるひと時を過ごして、癒されて下さいね。または、私に会いに来てください！ (笑)

